

少子高齢化社会に対応できる持続可能なまちづくりを

質問者 森 亘

現在、町の総人口に対して65歳以上が約30%、15歳から64歳までの生産年齢人口は約60%で、計算上2人に1人が高齢者を支えている。一方で、出生数は減少傾向にあり、145人と20年前の半分以下である。少子高齢化が一層顕著になっていく状況下だが、町民の安全安心な生活の確保と次世代への負担軽減を同時並行で進めなくてはならない。そこで、持続可能なまちづくりをどのように進めていくか町長に所見を伺う。